

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	当院の極低出生体重児における医原性咽頭食道穿孔
研究責任者	江口 脩
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	胃管による医原性咽頭食道穿孔は極めて頻度の低い疾患であるが、特に極低出生体重児に多く重篤な転帰を来す場合も少なくない重要な病態である。海外でもまとまった報告は数少なく、本邦ではいまだ報告がない。今回、当院での胃管による医原性咽頭食道穿孔を抽出しその疫学、臨床経過、治療などを解析し、今後の発症予防、診断、治療の一助になることを目的とする。
研究方法	後方視的に電子および紙カルテによるチャートレビューを行い、1993年から2022年までの当院に入院したすべての極低出生体重児を対象とする。「(医原性)咽頭食道穿孔」の病名またはカルテ記載がある児を抽出、院外出生児は除外とする。条件を満たした症例から抽出するデータは、性別、在胎週数、出生体重、発症日齢、発症から診断までの日数、症状、診断(胸部単純X線、造影検査、喉頭鏡)、治療(抗菌薬投与、胸腔穿刺など)、転帰とする。 個人情報保護する形で学会および論文で発表します。 希望されない方は下記までご連絡ください。なお、希望されない場合でもいかなる不利益もありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：江口 脩 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604